

守口市障害者施設等指定管理者制度 第三者的評価結果

評価対象施設	守口市障がい者・高齢者交流会館
指定管理者名	社会福祉法人 守口市社会福祉協議会
評価対象年度	平成31年度(令和元年度)及び令和2年度
施設所管課名	守口市健康福祉部障がい福祉課
評価者氏名	守口市障害者施設等指定管理者選定委員会委員

1 指定管理者による自己評価に対する意見等

平成31年度(令和元年度)における利用者アンケートについて、コロナ禍により実施できなかったことは致し方ないが、普段利用者から聞いているというだけでは些か客観性に欠ける。当事者の声が一番大事であるので、今後、利用者アンケートが実施できなかった場合に、障がい者団体等に意見を聞くなど、客観性を担保するような方法を検討してみてもどうか。

令和2年度の自己評価については、特に指摘事項はない。

2 市(施設所管課)による内部評価に対する意見等

平成31年度(令和元年度)及び令和2年度の内部評価ともに、特筆すべき指摘事項はない。

3 改善すべき課題等

当該施設に常駐しているのは障がい者や高齢者の方であるという点で、昨今起きている火災などのような緊急事態が発生した瞬間に責任者が現場にいないということに一抹の不安を感じる。初動対応の確認や、避難訓練の実施など、危機管理対応の定期的な見直しを検討されたい。

また、ハード面に関する課題が多く議論されているが、人材というソフト面も大切である。利用者との信頼関係を築くという点で、利用者と実際に接するのは施設スタッフとなるので、人材育成という面についても、さらに工夫をしていただきたい。